

ハトロン州ホヴァリング郡及びレヴァカント市における 「草の根・人間の安全保障無償資金協力」引渡し式

10月12、13の両日、相木大使は、タジキスタン南部ハトロン州ホヴァリング郡ロフティ地区ブグドヤク村学校及び同州レヴァカント市グリストン地区ボフトゥロボド村第6学校をそれぞれ訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された新校舎建設プロジェクトの引渡し式に出席しました。

相木大使は各引渡し式の挨拶で、教育は日・タジキスタン二国間協力における重要な分野であり、今回建設された新校舎が適切な維持・管理の下で長く利用され、新校舎で学んだ児童・生徒たちが将来、ハトロン州、そしてタジキスタンの発展に貢献することを期待する旨述べました。これに対して、ハキムゾダ・クルボン ハトロン州知事、ムフタジ・マヒディ ホヴァリング郡長、ファイジディンゾダ・ブナフシャ レヴァカント市長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計447件、総額約3,670万ドルに上るプロジェクトが実施されています。



ホヴァリング郡ブグドヤク村学校



レヴァカント市ボフトゥロボド村第6学校